

わがまちみらいマネジメント講座

いきいき会議の作り方① 実施報告書

- 1 日 時 令和2年1月26日（日）10時～16時
- 2 会 場 長崎市民会館6階 第9・10会議室（長崎市魚の町5番1号）
- 3 開催目的 地域活動のリーダー等を対象として、地域活動における運営能力の向上や地域活性化に効果的な手法の習得を目指す
- 4 テーマ ファシリテーター養成（3回連続シリーズ）
話し合いの場での参加者の意見の引き出し方などを学びます
- 5 参加者 11名（別紙「参加者名簿」参照）
- 6 講師 山口 覚 氏（津屋崎ランチLLP 代表）

まちづくりの原点は話し合いであるとの信念のもと、全国各地で話し合いの技術を広げている。自身は、福津市津屋崎という漁村集落を中心に、老若男女が語り合える土壌をつくる取組みを行っている。



7 実施内容

○チェックイン

☆ チェックインとは

ファシリテーターの役割の一つに「入ってきたときに、皆がどう思っているかを考える」ということがあります。

話し合いを始める前に、少人数（5人以下）で話すチェックインの時間をとることで、参加者の緊張感を和らげます。

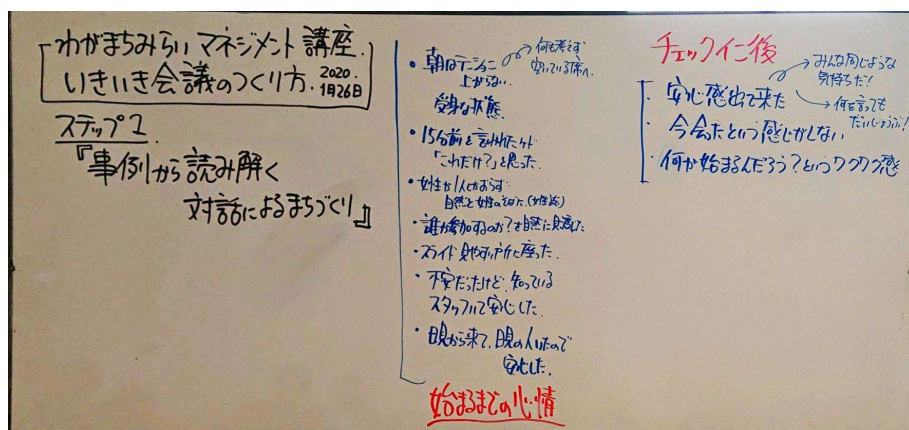
例えば、地域の会議に初めて来た人は、疎外感や不安を感じたりするので、そんな人に寄り添って「雑談していていいですよ」などと声をかけたり、いつもと同じメンバーでも、「最近どう？」というテーマで、まず参加者が話す時間をとるなどがあります。

① 自己紹介

まずは3人程度のグループでそれぞれ自己紹介をし、その後全体で一人ずつ自己紹介をしました。

② 講座が始まる前、どんな気持ちだった？

講座が始まる前（会場に入ってきたとき、席についたとき等々）どんな気持ちだったか、3人程度で話し合い、それを全体で発表し共有しました。



○対話とは

対話がしやすい話し合いにするために、クラフト紙を机に敷く方法を学びました。

その後、山口さんのお話を聞き、「対話」と「討論」の違い、なぜ今「対話」が必要なのかについて学びました。

① 対話のちょっとした練習—クラフト紙を敷いてみる

- 会議机をクラフト紙で隠すことで、会議室っぽい硬い雰囲気なくなる。（カフェのような自由な雰囲気に）
- 1人1人ペンを持ち、クラフト紙に落書き気分でメモをすることで、何を感じたのか話やすくなる。（メモを見ながら話すことができる）

② 会議は「討論」になりがち

- いかにか自分が正しいかを互いに言い合い、相手を言い負かしたほうが勝ち。
- 声の大きい人の意見や、理論的に発言できる人の意見が通りやすい
- ヒエラルキーが発言の邪魔をする

③ 「討論」と「対話」の違い

討論	対話
・ 人の話をあまり聞かない	・ 耳をすませて人の話を聞く
・ 否定や断定をする	・ 否定や断定をしない
・ 答えは1つと思い込む	・ 答えは一つと思わない
・ アイデアをつなげるチャンスはない	・ アイデアをつなげる
・ 心が変容せず、自分の考えに固執する	・ 心の変容を許す

④ 今、なぜ「対話」が必要なのか？

- これまでは、経験が活かされる社会だったので、年配の人、役職のある人の意見を聞いて入れれば良かった
- しかしこれからは、人類が経験したことがない時代に入っていく（人口減など）また、誰も答えを持っていないことを話合わなければならない。
⇒ 新しい人やいろんな分野の人と話し合い、色々な意見を取り入れる必要がある。



○事例から紐解く：対話はどんな現場に応用できそうか？

山口さんから、対話の事例を聞き、対話がどんな現場に応用できるのか、どんな効果があるのか学びました。

▪ 事例の一部を紹介！

➤ トークフォークダンス

フォークダンスのようにまわりながら大人と子どもが対話。子どもと大人が本音で語り合える場で、大人の失敗談や、夢は叶わなかったけど今充実しているというような話をするすることで、子どもたちの選択肢が広がる。

➤ まち医者の学校

まち医者と地域の住民が対話。まち医者は、自分の専門外の分野の話や、地域のことを知ることができ、住民はまち医者に気軽に相談ができる。

➤ 育友会の情報交換会

発表会という形で良いところだけ発表するのではなく、発表の幕間で話すような苦労話などを共有できる形に。



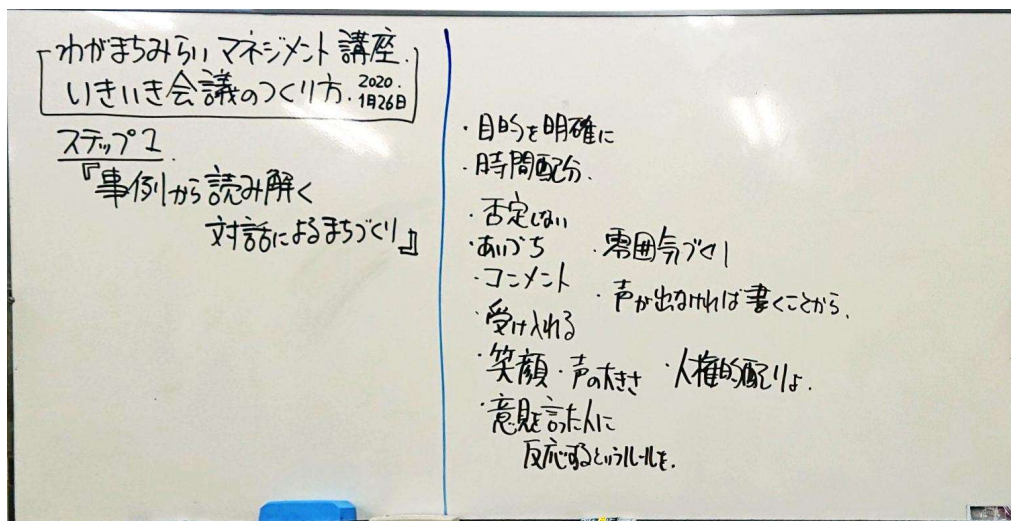
○ファシリテーターの役割とは？

これまでの講座の内容をふまえ、「ファシリテーターの役割とは？」をテーマにグループで話し合い、発表した後、山口さんからファシリテーターの役割についての話を聞きました。

最後に、「今日一日を振り返ってどうだったか」を1人ずつ発表しました。

▪ 出てきた意見を少し紹介！

- ファシリテーターは中立でなければならない
意思決定をする人がファシリテーターになると、中立になるのがより難しくなります。
- 少数派の意見は言いにくい
例えば、「もし〇〇派なら、その理由はなんだと思いますか？」など、自分の意見と違う立場の意見を出す「自分の意見は置いて」論法を使うと良い
- 言葉を出すのが苦手な人もいる
言葉が出るまで待つてあげる。また、何を言おうとしているのかしっかり聞いてあげることが大事



8 アンケート結果

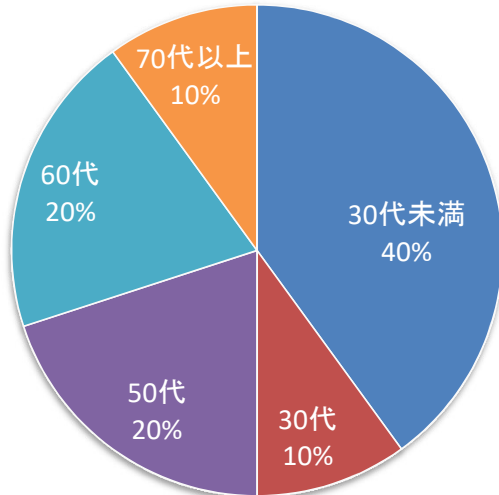
別紙「アンケート結果」参照

わがまちみらいマネジメント講座

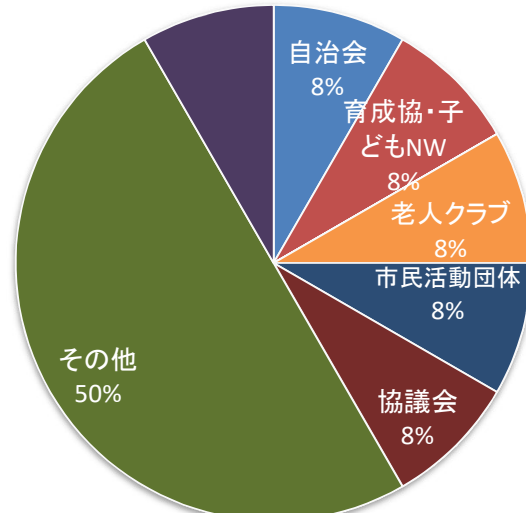
令和2年1月26日開催「いきいき会議の作り方①」アンケート結果

回答者10人（参加者11人）

参加者 年代比率

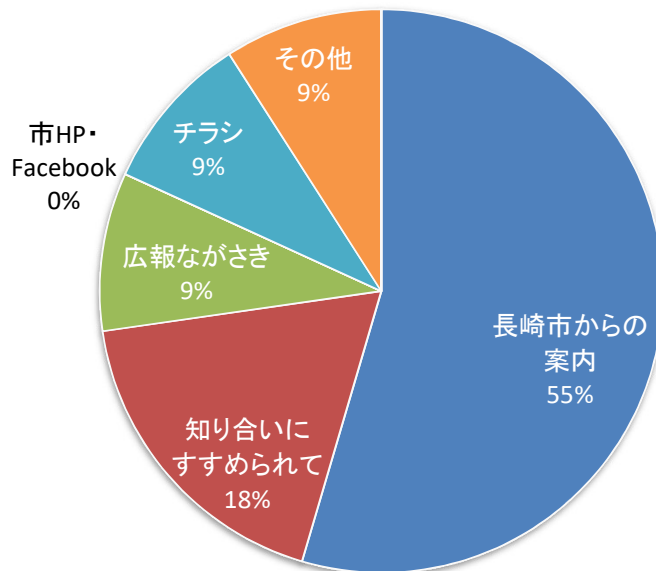


参加者 団体比率



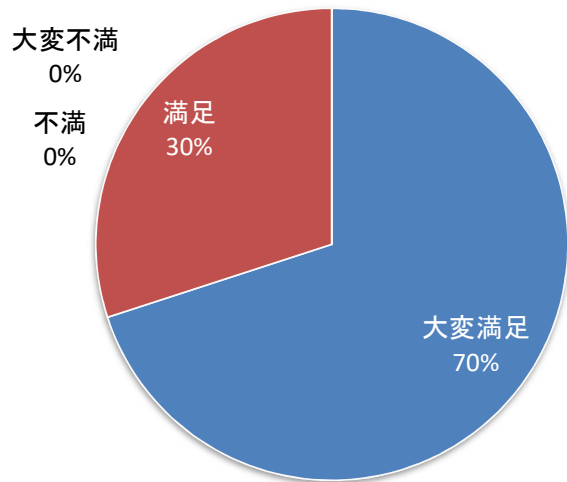
社協支部、PTA、子ども会・・・0%

1 本日はどのようなきっかけでご来場されましたか？（複数可）

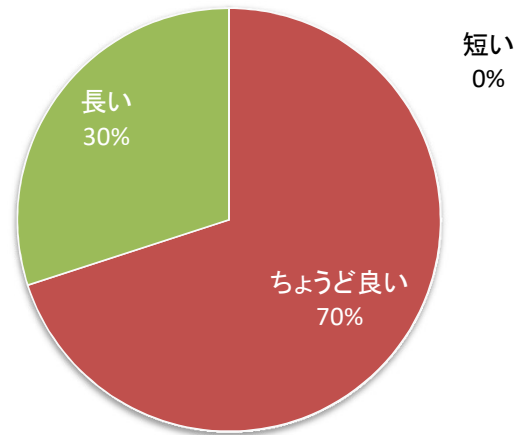


2 本日の講座の評価について、当てはまるものを選んでください。

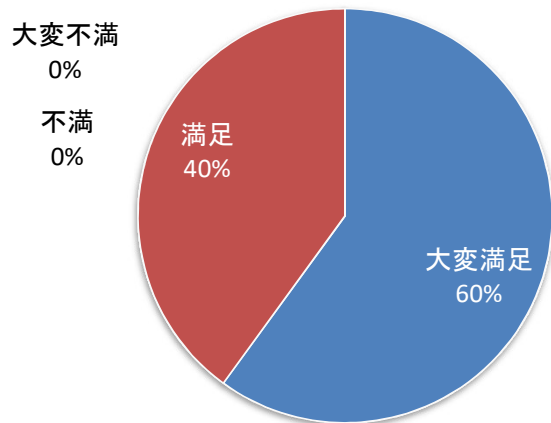
(1) 講座内容について



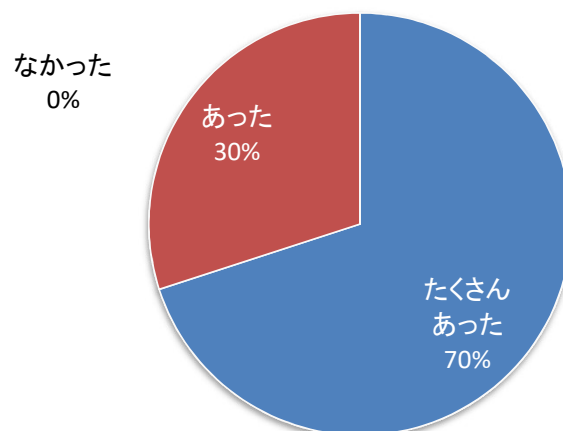
(2) 時間配分について



(3) 全体的に



3 新たな発見や活動の参考になることはありましたか？



3 新たな発見や活動の参考になったこと（自由記述）

内容
ファシリテーターとしての大切な要素をたくさん聞いてよかったです。 会議中、意見を否定せずにどんどん引き出すことができるファシリテーターになればと思います。
・ファシリテーターの心得 ・意見を出しやすくする方法 ・クラフトペーパーを使う方法 ・kj法の向き不向き など
多くの人々に会い、話をするなかで意見も色々あり楽しく話合えた。
意見が発表されたら素直に聞く、多くの意見の発掘は全員で共用する。
会議の事例を知れた。自治会や民生委員さんなど他の参加者の体験談を聞いてよかった。
意見やアイデアを多く出すためには、発言しなければいけないので、話しやすい雰囲気や受け入れる気持ちを持つことが大事だと思いました。
書いて意見出しをする場合 トクイ：過去の経験をまとめること ニガテ：未来の事を考えること なるほどと思いました。
話し合いの事例をいくつも紹介していただき、何か困っている話し合いがあっても、他の事例を参考に、解決することができるのだと学びました。
再認識ができました。
会議のあり方そのものを学べたと感じました。業務上、大変ためになりました。

4 その他、ご意見・ご要望、感想など（自由記述）

内容
ありがとうございました。
対話は一見まわり道のようなが、実は物事を決めることにも近道になるのかなと思いました。
今の活動(育成協・ネットワーク・放課後こども教室)に対し勉強になった。
市民の参加がだんだんと少なくなってきているのがとても気になる。